

浸水対策に有効な雨水貯留浸透製品・技術

環境新聞

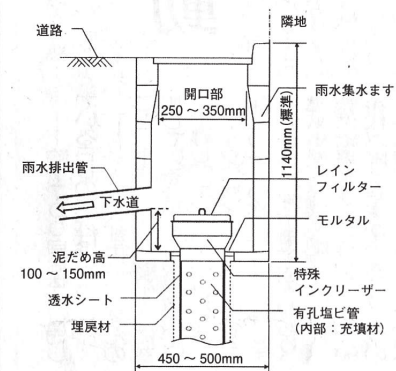
発行所 環境新聞社
東京本社 (03)3359-5371
〒160-0004 FAX(03)3351-1939
東京都新宿区四谷3-1-3
(第1層ビル)
大阪支社 (06)8252-5895
〒541-0057 FAX(06)8252-5896
大阪市中央区久太郎町3-1-15
新規模読用 (0120)1972-65
http://www.kankyo-news.co.jp/
販売口座 00150-5-20286
年間購読料 24,000円+税
© 環境新聞社 2018

全国非開削普及協議会

●工法の概要

EGSM工法(雨水集水ます浸透化工法)は、増加するゲリラ豪雨による浸水被害防止のために開発された工法で、道路の路面を掘削することなく、集水ますの底を抜く簡単な工事で浸透ます化することができ、道路浸透ますを新設する従来の工法に比べ、1力所当たりおおよそ1/2.5時間と短時間に低コストで施工できるほか、狭い道路や宅地内の雨水ますなど狭い場所でも対応可能な点など、多くの利点を持っている。

●工法の構成



施工例

「EGSM工法」

非開削で集水ますを浸透化 低コスト短時間施工

③雨水浸透部材の挿入
掘削管推進後、スクリーンコンベアなどを引き抜き、浸透管の挿入および充填材を投入、さきよの底版から4~5びと

に地山との間に埋め戻し材(砂)を充填し、掘削管を撤去する。埋め戻し材は、地山と浸透管本体の隙間を充填し、同時に掘削面を保護する。

④浸透構造体の構築
掘削機撤去後、浸透管上部に特殊インクリーザーおよびレインフィルターを取り付け、底部の隙間をモルタルで仕上げる。

●工法の適用範囲
EGSM工法は、関東ローム、砂質土および砂礫土(礫径50mm以下)への適用が可能。なお、地下水位の高い地域においては設計深度に留意する必要がある。

最大掘削推進延長は、土質によって異なるものの底版から4~5びと

さらにあらゆる雨水排水施設への適用を可能としており、雨水集水ますのみならずU字溝や都市型水路また雨水マンホールへの対応も可能である。浸透管径も、直径100mm、150mm、200mm、300mmと4種類ラインアップしている。

集水ますの浸透化は水溜りをなくするため、蚊の発生を抑え、蚊を媒体として流行するデング熱対策としても有効で、衛生面からも注目されている。

雨水集水ます浸透化工法

EGSM工法

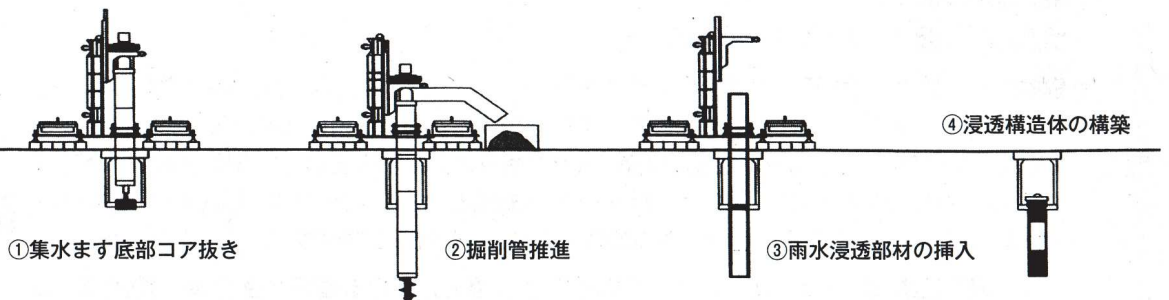
Easy Ground Speed Machine

公益社団法人雨水貯留浸透技術協会「技術評価認定書」取得

特長

- 道路集水ますの底を抜くだけの簡単な工事で短時間に低コストで施工が出来る。
- 狭い道路や宅地内雨水ますでも施工可能。隣地に環境負荷を与える心配が少ない。
- 掘削深さを土質に合わせて任意にとれる。深くとれば、設計水頭や浸透面積を大きくでき、浸透量も大きくできる。
- 浸透層の能力低下を防止する脱着可能なレインフィルターを装着するため、簡易なメンテナンスで、浸透能力の維持が可能。
- 雨水流出抑制及び地下水涵養や合流改善等に、貢献できる工法である。

EGSM工法：施工概念図



環境にやさしい、掘らない技術

全国非開削普及協議会 (EGSM 工法研究会)

〒192-0012 東京都八王子市左入町 87-1

TEL.042-696-5200 FAX.042-696-5237

URL: <http://www.hikaisakufukyu.com> E-mail: info@hikaisakufukyu.com